

# 白糠町におけるエゾシカ対策について

白糠町経済部経済課林業係 平野 雄士

## ○被害の状況及び捕獲対策

### 【被害状況】

特に牧草などの農作物への被害が顕著であり、自給飼料生産に甚大な影響を及ぼしている。  
過去には3.5億円を超える被害があり、防鹿柵の整備により一時期は減少されたものの、近年は高い水準で推移されている。

### 【捕獲数の状況】

北海道及び国の緊急対策以降、許可捕獲による捕獲頭数が上昇し、現在も高い捕獲頭数で推移しているものの、近年は狩猟による捕獲が減少している。

### 【担い手対策】

町内の捕獲従事者については、平成22年の65名から高齢化の影響もあり50名まで減少したが、町内エゾシカ肉処理業者によるハンターの雇用、狩猟免許取得費用の助成等により、20代、30代のハンターが増加し、現在は60名が町の有害捕獲に従事している。

# エゾシカ捕獲頭数・農業被害の推移



## ○有効活用の推進

### 【資源管理調査】

安定的かつ効率的な捕獲を行うため、GPS発信機による測位データの収集・管理による移動データの分析をし、町内ハンターへ情報提供を行った。

### 【有効活用の推進】

町内3社のエゾシカ肉処理施設による有効活用推進協議会を組成し、有効活用を図るための講演会や販路拡大に向け道内外のバイヤーが一同に集う相談会への参加、消費拡大へ向けたエゾシカ肉試食会、札幌市内のスープカレー組合とのコラボ企画等のPR事業を実施した。



# ○地域における課題

## 【アーバンディア対策】

市街地へのエゾシカの出没による、家庭菜園や庭木への食害が増えていることから、その対策として出沒箇所「忌避剤」を囲い出沒を防ぐ実証試験を行った。

